

各報道機関 様

記者発表資料(30-021)

平成31年 2月26日(火)

<本状に関する問合せ先>

観光事業担当 秋本・抜井・藤村
TEL : 048-647-8339 FAX : 048-647-0126

広報宣伝事業担当 大和田・伊野宮
TEL : 048-647-8338 FAX : 048-647-0116
E-MAIL : koho@stib.jp
URL : <https://www.stib.jp>
Twitter : @SaitamaTIB

今年は土曜日と日曜日に開催！「第38回大宮薪能」
～3月9日より鑑能券の先行電話予約を受付開始～

毎年5月に武蔵一宮氷川神社境内において開催している「大宮薪能」は、今年で38回目を数えます。今回は、5月25日と26日の土曜日・日曜日に開催します。

この「大宮薪能」は金春流・観世流・宝生流の3流派の演者が一堂に会す全国でも珍しい薪能で、2日間で能を4演目、素謡と狂言をそれぞれ2演目ずつ行います。

神社の境内に能舞台を施し、その舞台を包み込むようにそびえ立つ御神木と幻想的に照らす篝火が、鑑能者を幽玄の世界へ誘います。

なお、雨天の場合は、会場が市民会館おおみやに変更となります。

4月12日(金)から始まる鑑能券の一般販売に先立ち、3月9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日(日)の4日間、電話による先行予約販売の受付を行います。

先行予約販売では、S席の中正面とA席を1,000円引で販売します。

記

1 期日

2019年5月25日(土)、26日(日) 午後5時40分～午後9時30分
(演能開始 午後6時20分)

2 会場

武蔵一宮氷川神社境内(大宮区高鼻町1-407)

※雨天の場合は市民会館おおみや大ホール(大宮区下町3-47-8)に変更

3 演目及び演者

期日など		素謡	能	狂言	能
5/25 (土)	演目	おきな 翁	あつもり 敦盛	かぎゅう 蝸牛	かなわ 鉄輪
	流派 シテ	金春流 金春 憲和	金春流 金春 安明	和泉流 野村 万作	観世流 武田 友志
5/26 (日)	演目	おきな 翁	あらしやま 嵐山	いるまがわ 入間川	つねまさ 経政
	流派 シテ	金春流 金春 安明	金春流 本田 光洋	和泉流 石田 幸雄	宝生流 小林 与志郎

4 プログラム (両日とも)

開場 午後5時00分

開演 午後5時40分 (挨拶、素謡、火入れ式、解説など)

演能開始 午後6時20分

終演予定 午後9時30分

5 料金

S席7,000円 (S席の中正面のみ、先行予約では6,000円で販売)

A席6,000円 (先行予約では5,000円で販売)

※全席指定、パンフレット付

※代金引換えによる配送販売あり

6 電話先行予約

期 日：2019年3月9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日(日)

午前10時から午後3時まで

※初日の9日(土)のみ午後5時まで

電話番号：0120-400-106

7 一般販売

期 日：2019年4月12日(金) 午前10時から

販売場所：大宮駅観光案内所 (JR大宮駅東西自由通路内)

浦和観光案内所

(JR浦和駅アトレ浦和 South Area 1F ※4月21日(日)まで)

8 問合せ先

公益社団法人さいたま観光国際協会 (土・日・祝日休み)

TEL：048-647-8339 FAX：048-647-0126

新成

TAKIGI-NOH

第三十八回 大宮

第2日目

5/26(日)

第1日目

5/25(土)

能	狂言	能	素謡	能	狂言	能	素謡
(宝生流)	(和泉流)	(金春流)	(金春流)	(観世流)	(和泉流)	(金春流)	(金春流)
経	入	嵐	翁	鉄	蝸	敦	翁
政	川	山		輪	牛	盛	
小林幸志郎	石田幸雄	木田光洋	金春 安明	武田友志	野村万作	金春 安明	金春 憲和

先行予約

3/9日・10日・16日・17日

午前10時～午後3時受付
(9日のみ午後5時まで受付)

S席中正面 ¥7,000 → ¥6,000
A席全て ¥6,000 → ¥5,000

TEL 0120-400-106

S席の割引は中正面のみです
S席正面・脇正面は
¥7,000での販売です

嵐山

開演時間 午後5時40分
武蔵一宮氷川神社境内
(雨天の場合は市民会館おみや大ホール)

◆鑑能券: 全席指定 ¥7,000 (S席中正面のみ先行予約は ¥6,000) 現金のみ取扱い (カード不可)
パンフレット付 A席 ¥6,000 (A席の先行予約は ¥5,000)

◆先行予約: 平成31年3月9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日(日) 午前10時から午後3時まで(※9日のみ午後5時まで)

◆一般販売: 平成31年4月12日(金) 午前10時から完売まで ※詳しくは下記の事務所または観光案内所へお問い合わせください。

◆販売場所: 大宮駅観光案内所 (JR大宮駅東西自由通路内) 浦和観光案内所 (JR浦和駅 アトレ浦和South Area / 4月21日届まで)

事務所: TEL.048-647-8339 (土・日・祝日休み) <https://www.stib.jp/>
大宮駅観光案内所: TEL.048-644-1144
浦和観光案内所: TEL.048-883-1055
公益社団法人 さいたま観光国際協会
Saitama Tourism and International Relations Bureau

※各案内所は残券状況のみ回答可

5/25
(土)



一ノ谷で討死した平経政、敦盛はともに平経盛の子であった。兄は琵琶、弟は笛の名手として聞こえていた。源氏の武将熊谷直実は、我が子と同じ、まだ年端のいかぬ少年、敦盛を討つこととなった。戦いの世に深く無常を感じ、法然上人のもとで出家。その名を蓮生と改める。

ある日、敦盛を弔うために一ノ谷を訪れた蓮生は、笛の音とともに現れた草刈りの男たちに出会う。その中の一人が青葉の笛にまつわる話を始めたので、不審に思っていると、男は念仏を授けてほしいと言った。経を唱える蓮生に、男は自らを敦盛の化身であるとのめかし、その場を立ち去ってしまう。その夜、再び祈りを捧げる蓮生の前に、敦盛の霊が現れる。自分を弔う蓮生の姿を見た敦盛は、かつての敵も、今となっては真の友である喜び、生前の日々を懺悔の念で振り返りはじめた。そのうちに、自身が討たれた一騎打ちの場面を見せ、ひと度は前世での敵と迫るが、み法の力に真の友となった蓮生に回向を願いつつ消えていく。



洛北の谷奥、貴船神社は男女和泉式部も参り「物思へば沢の強もわが身よりあくがれ出づる魂かとぞ見る」と詠んだと云うのである。

社の社人に「丑の刻午前2時頃詣でをする都の女に神託を伝えよ」と夢のお告げがあった。真夜中になると女が現れる。女は、後妻を迎えた夫を恨み、夜な夜な貴船神社に参詣していたのである。社人から「望みを叶えたくば、顔には丹(赤い色)を塗り、鉄輪(五徳)の足に松明を立てて頭上に載せ、赤い衣を着て、怒りの心を持って」との神託を受けた女は、恨みを思い知らせるやると言い捨て、雷雨の中を駆け去る。女の元夫は悪夢に苦しみ、有名な陰陽師、安倍晴明を訪ねる。すると、元妻の呪いにより、夫婦の命は今夜で尽きると知らされる。男の願願に応じた晴明は、祈禱の棚に男と後妻の人影を飾り、呪いを肩代わりさせるための祈禱を始める。そこへ、神託のとおり火を灯した五徳の鉄輪を頭に載せ、鬼と化した元妻が現れる。鬼女は、人形が後妻であると錯覚し、人形の髪をつかみ、杖で散々に打ち据える。次に、男の人形に襲いかかるが、晴明が呼んだ神々によって退けられる。いつかまた戻ってくるという言葉を残し、鬼女は姿を消す。

5/26
(日)



国土豊かに円満の御世には、都十里の外には出ないと云われる帝のために、吉野山の神木の桜を移植したのが、都の西、嵐山の桜である。この春も花の盛りなるよしを聞き勅使がさし向かわされる。折から花のものを清め礼拝する老夫婦はいわれを語り、さらに、「嵐山」という名にもかかわらず、花が散らずに美しく咲き誇るのも、人の目には見えないけれども吉野から折花のもとにやってくる木守りの神と勝手の神の力のおかげだと語り。そして、自分たちこそが、その二神であること明かし、夜になるのを待つように伝え、夕陽に輝く雲に乗り、南の空、吉野の方へ消え去る。夜になると、勅使の前に木守の女神と勝手の男神が手に手に桜を持ち現れ、都の景色をたたえ舞う。すると、南方より芳しい風が吹き、吉野山にある金峯山寺の本尊、蔵王権現が威厳に満ちた姿を現す。蔵王権現は衆生と国土を守る誓いを立てたのち、みずからは、木守の神、勝手の神と一体であるという秘蹟を示し、嵐山にかけ巡り、木々や花々と戯れ、光に満ち満ちた春の久しかれと祝福する。

平安初期、仁明天皇の御代、唐より三面の琵琶の名器が伝えられ、「獅子丸」には獅子、「玄象」には玄い象、「青山」には山が描かれていたと云う。平経盛の子、経政は幼少より琵琶の名手の間で、え高



く、朝廷から青山を貸し与えられていたと云う。一ノ谷の戦いでは、平家一門多くが討死して果てたが、中でも朝廷の寵愛深かった経政のために仁相寺、大納言の僧侶行慶は青山を供え、管絃を奏し、法事を執り行った。すると、燈火の中に人影が現れる。行慶がその人影に正体を問うと、人影は経政の霊だとこたえる。行慶が声の方へ顔を向けると、人影は消え、声だけが残る。この世の人、行慶にその姿は見えないのだが、経政の霊は、甲に感謝し、詩歌や音楽に纏っていた日々を懐かしみ、青山を奏で、舞を舞う。そして、ひとときの夜遊びを乗りこえ、経政であったが、それも束の間。突然、争いや怒りが絶えぬ修羅の世界の苦しみか襲ってくる。苦しみに苛まれる姿を見られることを呪い、経政の霊は燈火を吹き消し暗闇の中に消えてしまう。

チケットのお求め方法は以下の2通りございます

① 先行予約販売 3月9日(土) 午前10時から

- 一般販売に先駆けて電話先行予約(S席・A席)を実施します。
- A席とS席正面は割引になります。
- 電話先行予約時の座席指定:案内は出来ませんのでご了承ください。
- 電話先行予約の際は、申込順に順次最前列より座席をお取りします。
- 受付日時・電話番号をお間違えないようお願い致します。
- 電話が混み合いがかりにくい場合がございますご了承ください。

受付日: 3月9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日(日)
午前10時~午後3時(※9日のみ午後5時まで)

受付電話番号: **0120-400-106**

引換期間: 3月22日(金)~3月28日(木)
引換場所: 大宮駅観光案内所または浦和観光案内所
※ 上記期間に引換できない場合、予約は無効となります。
※ 代金引換配送販売も行います。
※ 引換時間は「②一般販売」の販売時間に準じます。

② 一般販売 4月12日(金) 午前10時から

販売期間	販売場所	販売時間等
4月12日(金)~ 完売まで	大宮駅観光案内所 (JR大宮駅東西自由通路内) ☎048-644-1144	10:00~13:30 14:30~18:00 年中無休
4月12日(金)~ 4月21日(日)	浦和観光案内所 (アトレ浦和South Area) ☎048-883-1055	10:00~18:00 年中無休

守り伝えよう人類の口承及び無形遺産の操作

エネスコによる「無形文化遺産 能楽」

エネスコ(国際連合教育科学文化機関)は世界の無形文化遺産保護の一環として、平成13年5月「人類の口承及び無形遺産の操作の宣言」を行いました。これは歴史、芸術、民俗学、社会学、人類学、言語学、文化などの領域がまたがった新しい協働を有する国際的文化の保護と発展を目的としており、日本からは能楽がこの第一回傑作として賞讃されました。

●鑑能券(全席指定・パンフレット付)

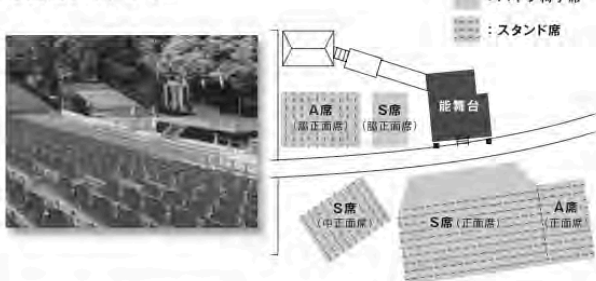
S席 ¥7,000 (S席中正面は先行予約期間内、¥6,000)
A席 ¥6,000 (A席は先行予約期間内、¥5,000)
※現金のみ取扱い(カード不可)

●会場 武蔵一宮氷川神社境内

さいたま市大宮区高島町1-407
交通 ●JR大宮駅東口から徒歩20分、または東武野田線大宮公園駅から徒歩15分
※雨天の場合は市民会館おみやげ大ホールに変更(会場決定 当日午後3時)

- 演能中の入場は一切できません。演能開始後は幕間まで入場できません。
- 演能前に曲目の解説を行います。
- 内容等に変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

●会場レイアウト



公益社団法人 さいたま観光国際協会

お問い合わせ先	事務所	048-647-8339(土・日・祝日休み)
	大宮駅観光案内所	048-644-1144
	浦和観光案内所	048-883-1055

残券状況のみ回答可